

## 坂さんぽ②

## 「絶景坂」

椎谷地区を走る旧国道352号上の、観音岬の最高点付近を絶景坂という。断崖絶壁の日本海を見下ろし、北に弥彦・角田の山々、寺泊・出雲崎・石地の集落が点在し、南に米山を望み、西に遥かに佐渡が見えるこの地は、柏崎有数の景勝地である。

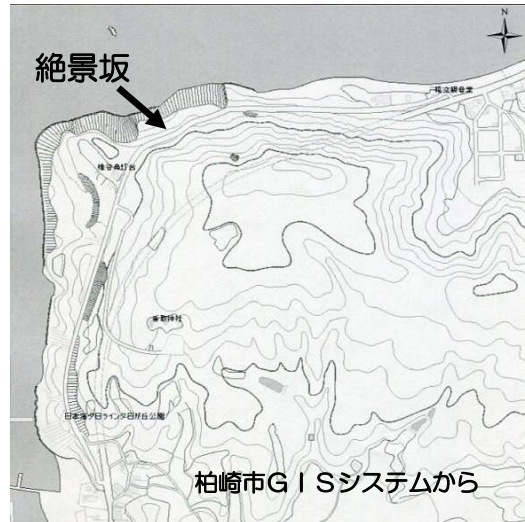
絶景坂という名の由来は、北陸大巡幸をされた折、明治11年9月14日に明治天皇がこの地でしばし御休憩され、またとない景色に「ああ絶景よ」と讃えられたことによる。明治天皇は椎谷の羽田家でお休みにになり、余興として蛸が蟹を追い回す様子をご覧に入れたところ、大層お喜びになったとのことである。その際明治天皇に献上した清水を「椎谷の御膳水（お茶水の井戸）」といい、清水の傍らに「明治天皇御膳水」の石碑が立っている。（ソフィアだより112号に掲載）

絶景坂から約50m海側にある灯台を椎谷鼻灯台という。これは昭和30年に第9管区海上保安本部が設置した無人灯であり、絶景坂にアクセントを添えている。

近年まで絶景坂は、国道352号の路線上にあったが、中越沖地震で大規模な斜面崩壊が発生したことにより、椎谷岬トンネルが新たに掘削され、平成22年に開通したことで、国道352号は椎谷岬トンネル経由に付け替えられた。椎谷集落の北端、椎谷岬トンネルに入る手前で、国道352号は左側に分岐するが、その付近の海側に夕日が丘公園があり、東屋・トイレが整備されている。

椎谷岬を貫通するトンネル工事は戦前にも行われ、昭和12年8月に一度貫通したが、その後の掘削・コンクリート工事の際の土砂崩壊で、同年12月に完成を目前にして工事中止となった。絶景坂を北に下り国道352号に再び合流する机立観音堂に、この経緯を記した「鬼頭銀次郎碑」がある。

絶景坂は景勝地でありながら、国道352号から外れ、周囲に人家がなく、椎谷鼻灯台～机立観音堂の間が通行止めとなっていることもあり、閑静な佇まいの中で心ゆくまで絶景を味わうことができる。



### ●参考にした資料

『柏崎市伝説集』柏崎市教育委員会編（388 Kキヨ）『海の柏崎よもやま話』前川政三郎編著（224 マエ）  
『柏崎編年史 下巻』新沢佳大編著（224 シン）『高浜ものがたり』柏崎市立高浜小学校編（224 Kタカ）  
『柏崎のいしぶみ第1集』山田良平著（224 ヤマ）

柏崎日報 昭和7年10月22日号、昭和12年8月26日号、昭和32年4月1日号、平成22年1月7日号